

第34回環境賞(日立環境財団・日刊工業新聞社共催)で「優良賞」を受賞
～CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」が評価される～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM※1プロジェクト」が評価され、財団法人日立環境財団※2と株式会社日刊工業新聞社が共催する第34回環境賞において「優良賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

環境賞とは、1974年度に発足した表彰制度であり、環境への負荷が少なく持続的発展が可能な研究・開発・調査について、画期的な成果を上げるか、その成果が期待される、個人・企業・団体を表彰するものです。

当社は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、CO2排出削減プロジェクトを推進しています。2006年2月、CO2削減としては世界最大級であり、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては世界初となるCDMとして、国連機関(CDM理事会)の承認を受けました。今回、この取り組みが高く評価され、同賞を受賞したものです。

当社は、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、「環境」をCSR活動の最重要分野と位置づけており、今後とも温暖化対策を始めとする地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献してまいります。

※1 : 京都メカニズムの1つ「クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)」の略で、先進国が技術や資金を提供し、発展途上国で温室効果ガス排出削減プロジェクトを行った場合、そのプロジェクトによって削減された温室効果ガス相当量に対し、一定の認証手続きを得て排出権が発行される制度。

※2 : 環境問題に関する総合的な調査・研究活動を通じて、環境についての正しい認識と理解を促進することを目的とし、日立製作所の創業者・小平浪平翁20年祭を記念して、1972年(昭和47年)1月に「(財)公害調査センター」として設立された公益法人。2001年(平成13年)より「(財)日立環境財団」に名称を変更。

記

1. 受賞対象: 「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」
2. 受賞者: 栗本 駿 (新日本石油株式会社 執行役員 環境・品質本部 社会環境安全部長)
大橋 秀俊(新日本石油開発株式会社 トリポリ事務所長)
土田 進一(新日本石油株式会社 環境・品質本部 社会環境安全部チーフスタッフ)
3. 表彰式: 6月6日(水)11:30～ (東京プリンスホテル)

以上

別紙:「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」について

別添資料  「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」について (PDF:482.8KB)